

令和元年度

全国知的障害関係施設長等会議 開催のご案内

テーマ 共生社会の実現を目指す経営のあり方 —ソーシャルワークの実践の具現化に向けて—

地域共生社会の実現には、地域の多様な主体が世代や分野を超えて繋がることで、一人ひとりの暮らしと生きがいや地域を共に創る実践が求められます。そのためには、差異や多様性を認め合う寛容さや心のつながりといった各人の意識だけでなく、相互の連帯を具現化するための社会的なシステムが不可欠です。さらに、障害のある人や貧困の人々等を社会的に排除するのではなく、地域社会への参加を促し、社会に統合するソーシャル・インクルージョン（社会的包摂）の視点と、そうした人々に対する権利擁護が極めて重要となります。

今年度の本会議では、理想とする共生社会の実現に向けて求められるソーシャルワークの機能や実践、社会福祉法人と障害福祉従事者の役割等について考察し、議論したいと思います。

さらに2日目は、「子どもの育ちをめぐる様々な課題と障害児支援の役割—日本の子ども・家族の現状の課題をとらえ、障害児支援の積極的な役割を考える—」「社会福祉法人の今日的な課題」「障害福祉サービスの『質の評価』と報酬のあり方」「障害者の権利擁護に関する動向と制度的・実践的課題—知的障害者の主体性が尊重される制度改革と実践の充実を求めて—」「これからの時代を担うスタッフの育成とは—マネジメントの視点から—」の5つのテーマの分科会を設けました。

関係各位の積極的なご参加をお待ちいたしております。

主催 公益財団法人 日本知的障害者福祉協会

後援(予定) 厚生労働省、文部科学省
(一般社団) 全国肢体不自由児者父母の会連合会、(一般社団) 全国児童発達支援協議会、(社福) 全国社会福祉協議会、全国社会就労センター協議会、(社福) 全国重症心身障害児(者)を守る会、(公益社団) 全国脊髄損傷者連合会、(特非) 全国地域生活支援ネットワーク、(一般社団) 全国知的障害者施設家族会連合会、全国手をつなぐ育成会連合会、障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会、(一般社団) 日本自閉症協会、(公益社団) 日本重症心身障害福祉協会、(特非) 日本障害者協議会、(公益社団) 日本精神科病院協会、(特非) 日本相談支援専門員協会、(一般社団) 日本発達障害ネットワーク、(公益社団) 日本発達障害連盟
【略称】社福:社会福祉法人、公益社団:公益社団法人、一般社団:一般社団法人、特非:特定非営利活動法人

会期 令和元年7月22日(月)・23日(火)

会場 パシフィコ横浜(神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1)

参加対象 ①障害福祉施設・事業所の長
②障害福祉施設・事業所の中堅幹部職員
③社会福祉法人等役員
④地方自治体の担当者及び関係者
⑤その他

定員 2,500名

参加費 ①会員・準会員 17,000円
②一般 23,000円

(※申込み締切日後のお申込みは、会員・準会員であっても上記②の扱いとさせていただきます。)

【第1日目】 全体会	11:15	12:00	12:40	13:40	14:40	15:00	16:50
	受付	開会式 ・ 授賞式	行政説明	基調講演	休憩	シンポジウム	
【第2日目】 分科会	9:00	9:30					15:00
	受付 (各分科会)	午前の部		休憩 <small>※時間は各分科会スケジュールによる</small>	午後の部		

1	第1日目【全体会】令和元年7月22日(月)	
	11:15～12:00	受付
	12:00～12:40	開会式・授賞式
	12:40～13:40	行政説明 源河 真規子 (厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課 課長)
	13:40～14:40	基調講演「『知的障害』という生きにくさ —知的障害者福祉・ソーシャルワークは何ができるか— 講師：中野 敏子 (明治学院大学 名誉教授)
	14:40～15:00	休 憩
15:00～16:50	シンポジウム テーマ「地域共生社会の実現に向けて ～ソーシャルワークの実践・地域創りのこれから～」 シンポジスト：小澤 温 (筑波大学 人間系 教授) 又村あおい (全国手をつなぐ育成会連合会 政策センター 委員) 片山 睦彦 (藤沢市福祉健康部 部長) コーディネーター：河原 雄一 (政策委員会 委員長/ 神奈川県・星谷学園 施設長)	

2	第2日目【分科会】令和元年7月23日(火)	
	第1分科会	子どもの育ちをめぐる様々な課題と障害児支援の役割 —日本の子ども・家族の現状の課題をとらえ、障害児支援の積極的な役割を考える—
	第2分科会	社会福祉法人の今日的な課題
	第3分科会	障害福祉サービスの「質の評価」と報酬のあり方
	第4分科会	障害者の権利擁護に関する動向と制度的・実践的課題 —知的障害者の主体性が尊重される制度改革と実践の充実を求めて—
第5分科会	これからの時代を担うスタッフの育成とは —マネジメントの視点から—	

お申込み・お問い合わせ

●開催事務局 (会議の内容に関するお問い合わせ)

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会
全国知的障害関係施設長等会議
(担当：柘植(つげ)・水内)

〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-19 KDX浜松町ビル6階
TEL：03-3438-0984

●参加申込み・宿泊に関するお問い合わせ

名鉄観光サービス株式会社 MICEセンター
令和元年度全国知的障害関係施設長等会議担当

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル ロビー階
TEL：03-3595-1121 FAX：03-3595-1119

第
1
分科会

テーマ

子どもの育ちをめぐる様々な課題と障害児支援の役割
－日本の子ども・家族の現状の課題をとらえ、障害児支援の積極的な役割を考える－

少子化、核家族化、地域のつながりの希薄化などにより環境が変化し、子育て家庭の孤立化や貧困等、日本の子どもを取り巻く今日的な課題は多様化しています。

虐待のリスクは、通常の子どもよりも障害のある子どもの方が高いといわれています。子どもたちに対して障害児支援は何かできるのか、何をしなければならぬのかを考えるとともに、子どもの最善の利益を守るために、地域で子どもと家族を支えていくことや障害児入所の方向性など、今後の障害児支援のあり方を探ります。

第
2
分科会

テーマ

社会福祉法人の今日的な課題

社会福祉法人制度改革においては様々な改革が求められましたが、とりわけ、地域の公益的取り組みについては、複数間法人連携での取り組みが地域共生社会の先駆的な取り組みとして注目を浴びる一方、社会福祉法人の統合・合併の議論も出てきており、今後は社会福祉法人間の連携のあり方を含め、方向性を探る必要があることから、法人制度改革後の諸課題について考察します。

また、日本社会全体として「働き方改革」の取り組みが進められている中、来年度からは同一労働同一賃金の実施がなされ、社会福祉法人においても対応が求められます。社会福祉法人経営を担う立場から働き方改革で求められることは何かを議論したいと思います。

第
3
分科会

テーマ

障害福祉サービスの「質の評価」と報酬のあり方

障害福祉サービスの「質の評価」が大きく取り上げられるようになってきました。国においては福祉サービスの質の向上を目的に各種の検討会等が設けられ、実態調査や新たなガイドライン作りなどが始まっています。こうした動きは今後の福祉サービス事業のあり方の指針であると同時に、報酬における評価軸の検討の準備と捉えることができるでしょう。

報酬改定検討チームが常設されましたが、今後の福祉サービス事業のあり方について議論を深め、次期報酬改定に向けた政策提言に繋がりたいと考えます。

第
4
分科会

テーマ

障害者の権利擁護に関する動向と制度的・実践的課題
－知的障害者の主体性が尊重される制度改革と実践の充実を求めて－

国は、障害者権利条約への批准以降、国内法の整備を含め、障害者の権利擁護等（合理的配慮、成年後見制度利用促進、意思決定支援等）に関する取り組みを進めています。しかしながら、障害者の権利擁護にかかる環境整備等については、未だ法制度や現場における解決すべき課題が山積しています。

本分科会においては障害者の権利擁護に関する現状を正しく理解するとともに、知的障がいのある本人が主体となるための制度や実践の問題や課題について共有します。

第
5
分科会

テーマ

これからの時代を担うスタッフの育成とは
－マネジメントの視点から－

少子高齢化・人口減少が進行する中で、最近、我が国では労働力の確保が重要な課題となっており、障害福祉分野においても、人材の確保は困難な状況が続いています。人材不足の要因には様々なものがありますが、人材が確保しにくいからこそ、事業所の環境を整備し、人材が集まるための努力が法人に求められます。

本来、障害福祉の現場は利用者とスタッフが共に成長できる魅力的な実践の場です。

地域共生社会という新しい時代を担うスタッフをどのように育成するか、利用者が豊かに暮らし、地域住民から信頼される事業所とするために施設長等に求められるマネジメントは何かを考え、課題を共有したいと思います。

9:30 ~ 11:00	<p>講演 1 障害児入所の方向性と 児童発達支援センターの地域での役割 講師 柏女 霊峰 淑徳大学 総合福祉学部 社会福祉学科 教授</p>
11:00 ~ 12:00	<p>講演 2 全ての子どもの育ちが保障される社会へ -人口減少時代に求められる支援と目線- 講師 榊原 智子 読売新聞東京本社 調査研究本部 主任研究員</p>
<p>休憩 (12:00 ~ 13:00)</p>	

13:00 ~ 13:30	<p>行政説明 今後の障害児支援について 講師 山口 正行 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 障害児・発達障害者支援室 室長</p>
13:30 ~ 15:00	<p>パネルディスカッション 困り感のある子どもと家族を支えるために 講師① 遠藤 光博 北海道・ノビロ学園 園長 講師② 光真坊浩史 東京都・品川区立品川児童学園 施設長 講師③ 高橋 潔 神奈川県・弘済学園 園長 助言者 山口 正行 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 障害児・発達障害者支援室 室長 進行 北川 聡子 児童発達支援部会長 北海道・むぎのこ児童発達支援センター センター長</p>

9:30 ~ 10:00	<p>講演 1 社会福祉法人をめぐる動向 講師 久木元 司 社会福祉法人経営の在り方検討会 委員長／ 鹿児島県・(社福)常盤会 理事長</p>
10:00 ~ 11:30	<p>講演 2 福祉経営と働き方改革 講師 西田 和弘 岡山大学法科大学院 教授／ 社会福祉法人経営の在り方検討会 専門委員／ 危機管理委員会 専門委員</p>
<p>休憩 (11:30 ~ 12:30)</p>	

12:30 ~ 15:00	<p>シンポジウム 社会福祉法人の今日的な課題 シンポジスト 西田 和弘 岡山大学法科大学院 教授／ 社会福祉法人経営の在り方検討会 専門委員／危機管理委員会 専門委員 萩原 勝己 危機管理委員会 委員長／神奈川県・(社福)素心会 理事長 谷村 誠 全国経営協 経営強化委員長／兵庫・(社福)みかり会 理事長 コーディネーター 久木元 司 社会福祉法人経営の在り方検討会 委員長／ 鹿児島県・(社福)常盤会 理事長</p>
---------------	--

9:30 ~ 10:20	<p>報告 1 平成30年度障害者支援施設のあり方に関する 実態調査委員会「総合福祉推進事業」 講師 樋口 幸雄 日本知的障害者福祉協会 副会長／京都府・若杉 施設長</p>
10:20 ~ 11:20	<p>報告 2 障害者の福祉的就労・日中活動の 質の向上のための研究会「厚生労働科学研究」 講師 志賀 正幸 生産活動・就労支援部会 副部会長／長崎県・諫早ワークス 施設長 講師 村上 和子 日中活動支援部会 副部会長／大分県・ファンタジア 施設長</p>
<p>休憩 (11:20 ~ 12:20)</p>	

12:20 ~ 12:50	<p>講演 次期報酬改定に向けた課題 講師 河原 雄一 政策委員会 委員長／神奈川県・星谷学園 施設長</p>
12:50 ~ 15:00	<p>シンポジウム 福祉サービスの質の評価について シンポジスト 河原 雄一 政策委員会 委員長／神奈川県・星谷学園 施設長 榎本 博文 障害者支援施設部会 部会長／愛知県・ひまわりの風 施設長 志賀 正幸 生産活動・就労支援部会 副部会長／長崎県・諫早ワークス 施設長 村上 和子 日中活動支援部会 副部会長／大分県・ファンタジア 施設長 助言者 小林 靖 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 課長補佐 進行 樋口 幸雄 日本知的障害者福祉協会 副会長／京都府・若杉 施設長</p>

9:30 ~ 10:30	<p>講演 1 成年後見制度利用促進基本計画を踏まえた 裁判所の取組みについて -診断書書式の改定と本人情報シートの導入を中心に- 講師 太田 章子 最高裁判所 事務総局 家庭局 局付(判事)</p>
10:40 ~ 12:10	<p>講演 2 意思決定支援に基づく本人主体の 成年後見制度利用促進の課題 講師 木口恵美子 鶴見大学 短期大学部 保育科 准教授</p>
<p>休憩 (12:10 ~ 13:10)</p>	

13:10 ~ 15:00	<p>シンポジウム 障害者の権利擁護に関する動向と制度的・実践的課題 シンポジスト 古川 彰彦 福島県・父の夢 施設長 服部 敏寛 山梨県・サポートセンターハロハロ一番館 センター長 助言者 木口恵美子 鶴見大学短期大学部 保育科 准教授 コーディネーター 田口 道治 知的障害者の意思決定支援と成年後見制度に関する委員会 委員長／ 岐阜県・相談支援事業所ゆう 所長</p>
---------------	--

9:30 ~ 10:40	<p>講演 1 スタッフのホスピタリティ形成と事業経営 -福祉施設のリーダーに求められる役割と責任- 講師 島津 幸治 日本コンサルティング株式会社 コンサルティング部 中小企業診断士 福祉サービス第三者評価者</p>
10:40 ~ 11:50	<p>講演 2 権利擁護を土台とする人材育成について 講師 竹之内章代 東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科 准教授</p>
11:50 ~ 12:10	<p>活動報告 1 日本知的障害者福祉協会における人材育成の仕組みについて 発表者 松下 直弘 人材育成・研修委員会 委員長／ 愛知県・岩崎学園 園長</p>

12:10 ~ 12:20	<p>活動報告 2 協会求人ポータルサイト“知的障害者支援員おしごと.net”について 発表者 太田 和男 日本知的障害者福祉協会 常任理事</p>
<p>休憩 (12:20 ~ 13:20)</p>	
13:20 ~ 15:00	<p>シンポジウム 人材育成と私たちの取組み シンポジスト 水流 純大 鹿児島県・あさひが丘学園 施設長 早田 達也 福岡県・北九州ひまわりの里 施設長 野口 直樹 長野県・のぞみの郷高社 所長 助言者 竹之内章代 東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科 准教授 コーディネーター 山崎千恵美 日本知的障害者福祉協会 副会長／北海道 ildo 施設長</p>

※登壇者、講演テーマなどは、都合により変更となる場合があります。